

●藤岡家住宅

「奈良町」の一部である奈良市高畑町に所在する町家。建築年代を示す棟札などは発見されていないが、昭和23年に登記がされていることからこの頃の建築と思われる。

内部は南北にミセノマ、ナカノマ、オクノマの1列3室を並べ、東にトオリニワを設ける。北面には縁側を通す。平成28年に大規模な改修が行われたが、正面外観は往時の姿を残し、奈良町の歴史的景観に貢献している。

・藤岡家住宅主屋（ふじおかけじゅうたくおもや）

所在地 奈良市高畑町
建築年代 昭和23年頃／平成28年改修
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積70㎡

●永井家住宅

奈良市南魚屋町に所在する町家。永井家はもと「布屋」と称する木綿問屋であったが、明治期に「帝国植物性インキ製造所」としてインクの製造販売を始め、明治43年にロンドンで開かれた日英博覧会では銅賞を得た。その後、昭和初めには骨董商に転じ、終戦頃まで営業していた。

主屋は江戸末期のものと思われ、奈良町の中ではやや敷地の奥行が浅く、間口が広い。大正前期頃には北方にオクザシキを増築した。用材は良質で、保存状態も良く、奈良町における近世末期の町家として貴重である。

・永井家住宅主屋（ながいけじゅうたくおもや）

所在地 奈良市南魚屋町ほか
建築年代 江戸末期／大正前期増築
構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積213㎡

●岡橋家住宅

橿原市小槻町に所在する。岡橋家は代々庄屋を務めた旧家で、江戸中期頃から徐々に山林の所有を増やし、明治以後は林業を生業とした。屋敷構えは極めて大規模で、近世末から近代にかけて建築された15棟の建造物が所在する。県内有数の近代和風建築群として重要である。

主屋・茶室及び渡廊下は、もと江戸末期の建物であると伝わるが、大正6年に大規模な改造がなされており、ほぼこの時に新築されたものと思われる。土間を挟んで東西に12室を設ける。土間境に建つ大黒柱は無節の檜材で12寸5分角ある。

離座敷は、敷地内で最も古いと思われる建物で、棟木に打ち付けられた祈禱札より江戸末期の建築と推定される。屋根に改造が見られるものの、内部は概ね当初の姿を留めている。

山守出頭宿泊所は、痕跡より昭和前期の建築と思われ、座敷1室を設ける。

山守宿泊所は、山守出頭宿泊所に引き続き建てられたものと伝わり、南北に2室を並べる。現在は事務室として使われている。

内蔵は棟札より大正8年の建築であることが明らかである。小屋組をトラスとする。

本蔵は敷地の北側中央に位置し、棟札より大正6年の建築と判明する。2階床には荷物を引き上げるための開口部が残る。

瀬戸物蔵の棟札は発見されていないが、扉の内枠に明治20年の銘があり、この頃の建築と思われる。腰には海鼠壁をめぐらせる。

東米蔵は大正8年の棟札が残る。敷地東辺に沿って、やや南北軸からずらして建つ。

南米蔵は敷地南東隅に建ち、痕跡から昭和前期のものと思われる。長屋門とともに屋敷

の表構えを引き締める。

北米蔵の建築年代は判然としないが、内蔵と構造形式が良く似ることからこの頃のものと思われる。腰は縦板張とする。

新乾蔵は、敷地北西にやや離れて建つ。鍵に昭和13年とあり、この頃の建築と思われる。外観は本蔵に似る。

西納屋及び庭門は、離座敷東側に南面して建つ。痕跡より昭和前期の建築と思われる。庭門は南北の庭をつなぐ。

東納屋及び高塀は、西納屋及び庭門の東に建つ。建築年代は定かでないが、西納屋及び庭門と同時期と思われる。内部は3室に分かれる。

長屋門は、敷地南面に建つ。屋敷構えが整えられた昭和前期の建築と思われる。納戸5室及び仲間部屋と一体となっており、桁行長さは30mを超える。

東門及び土塀は、敷地東辺中央に開かれた両開の門と、総延長118mの土塀より成る。建築年代は判然としないが、家伝より昭和前期と思われる。長屋門とともに歴史的な町並みの形成に貢献している。

・岡橋家住宅主屋・茶室及び渡廊下

(おかはしけじゅうたくおもやちゃしつおよびわたりろうか)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 大正6年／昭和前期増築

構造・形式・規模 木造平屋一部2階建、瓦葺、門及び塀付、建築面積399㎡

・岡橋家住宅離座敷 (おかはしけじゅうたくはなれざしき)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 江戸末期

構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積64㎡

・岡橋家住宅山守出頭宿泊所 (おかはしけじゅうたくやまもりしゅつとしゅくはくしよ)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 昭和前期

構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積40㎡

・岡橋家住宅山守宿泊所 (おかはしけじゅうたくやまもりしゅくはくしよ)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 昭和前期

構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積51㎡

・岡橋家住宅内蔵 (おかはしけじゅうたくうちぐら)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 大正8年

構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積62㎡

・岡橋家住宅本蔵 (おかはしけじゅうたくほんぐら)

所在地 檀原市小槻町

建築年代 大正6年

構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積98㎡

- **岡橋家住宅瀬戸物蔵** (おかはしけじゅうたくせとものぐら)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 明治20年頃
構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積24㎡
- **岡橋家住宅東米蔵** (おかはしけじゅうたくひがしこめぐら)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 大正8年
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積70㎡
- **岡橋家住宅南米蔵** (おかはしけじゅうたくみなみこめぐら)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積22㎡
- **岡橋家住宅北米蔵** (おかはしけじゅうたくきたこめぐら)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 大正後期
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積115㎡
- **岡橋家住宅新乾蔵** (おかはしけじゅうたくしんいぬいぐら)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和13年頃
構造・形式・規模 木造2階建、瓦葺、建築面積88㎡
- **岡橋家住宅西納屋及び庭門** (おかはしけじゅうたくにしなやおよびにわもん)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積24㎡
- **岡橋家住宅東納屋及び高塀** (おかはしけじゅうたくひがしなやおよびたかべい)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積17㎡、高塀 瓦葺、延長7.16m
- **岡橋家住宅長屋門** (おかはしけじゅうたくながやもん)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 木造平屋建、瓦葺、建築面積142㎡、塀付
- **岡橋家住宅東門及び土塀** (おかはしけじゅうたくひがしもんおよびどべい)
所在地 榎原市小槻町
建築年代 昭和前期
構造・形式・規模 東門 石造、間口2.6m、土塀 瓦葺、総延長118m